

糸魚川市駅北大火被災者・関係者説明会 議事録

日 時	平成 30 年 8 月 31 日（金）10：30～11：30		場 所	ヒスイ王国館 2 階ホール
件 名	(1) 義援金の第 7 次配分計画について (2) 復興関連工事の実施予定について (3) 復興まちづくり市民会議の設置について (4) にぎわい創出広場等の整備について (5) その他 ○まちなか駐車場の利用について ○復興版マンホール蓋の設置について			
出席者	糸魚川市	米田市長、木村副市長、藤田総務部長、見辺産業部長、山本市民部長、丸山消防長、齊藤復興推進課長、五十嵐建設課長、大嶋商工観光課長、他担当係長		
	被災者関係者	34 世帯 43 人（被災者関係者以外の一般参加者 11 人）		
	報 道	6 社（テレビ新潟、建設速報社、朝日新聞社上越支局、上越タイムス、新潟日報社糸魚川支局）		
会 議 要 旨				
開 会 あいさつ (米田市長)	<p>被災者・関係者説明会の開催にあたり、一言あいさつをさせていただきます。</p> <p>今年は、大変暑い日が続き、皆さまにおかれましても日々の生活にご苦労があったことと存じます。このような炎天下のなかでも、被災地では着々と住宅や事業所の再建が進んでおり、これからさらに被災地に人やお店が戻って参ります。</p> <p>また、市で実施しております復興関連事業についても今年度は大型防火水槽や復興市営住宅の建設などを進めて参りました。今年度後半にかけては、道路の美化化や防災広場の整備工事にも着手していく予定にしており、復興まちづくり計画における復興整備期として、まちが形づくられようとしています。</p> <p>しかしながら、大火を契機に多くの居住者や事業者がこの土地を離れたという現実もあり、整備が進む、まちなかに「中身」をつめていくこともあわせて実施していかなければなりません。</p> <p>この場所で住みたい、商売をしてみたいと思えるような魅力のある場所にしていくために、復興まちづくり市民会議やにぎわい創出広場の広場会議などでは、自ら活動してみようという熱意を持った方々からお集まりいただき、意見交換を行っているところであります。</p> <p>少しずつでも、どんなに小さいことでも自分ができることを「まずはやってみる」ということが、長い目で見た持続可能なまちづくりにつながってまいります。</p> <p>すぐに成果は出なくても、何かをしなければ被災前よりも「にぎわいのある、住み続けられるまち」にしていくことはできませんので、皆さまからもご協力・ご参画をいただきながら、引き続き復興まちづくりに精一杯取り組んで参りますことを申し上げ、開会の挨拶とさせていただきます。</p> <p>本日は、よろしく願いいたします。</p>			
議題 (1)	(1) 義援金の第 7 次配分計画について 説明：嶋田福祉事務所次長 【質疑】 無し			

<p>議題（２）</p>	<p>（２）復興関連工事の実施予定について 説明：五十嵐建設課長 【質疑】 無し</p>
<p>議題（３）</p>	<p>（３）復興まちづくり市民会議の設置について</p>
<p>議題（４）</p>	<p>（４）にぎわい創出広場等の整備について 説明：斉藤復興推進課長 【質疑】 （女性１） まちづくり市民会議の委員の選出について公募はされましたか。構成をみると被災された事業者の方もいらっしゃいますが、企業の代表だけではなく一般の被災者や区民の中から何人か入ってもよろしいのではないかと思います。昨日行われた、まちやどシンポジウムに参加してみて今まで参加したなかで一番参加者が多くて良かった。まちづくりに若い人がこんなに関心があるのかと思ったので、そういう人たちを活用できるような、フレッシュな若い人の発想や広い視野を生かせるような構成で進めていただきたいと思います。 （斉藤復興推進課長） 市と商工会議所で相談しながら選出させていただいています。公募はしていませんが、会議はどなたでも傍聴可能としています。なかなかその場でご意見を頂くような時間を設けられないのですが、ご覧になられて感じたご意見等は市や会議所の方にお伝えいただきたいと思います。今のところこのメンバーで進めていきます。 （女性２） たくさんある広場の方ですが、だんだん計画ができてきて楽しみと感じています。しかし、現在の状況を見ると草が生えてきています。家を建てられて戻っている方もいるので、蚊や虫のことが心配になります。まだ暑い日が続くので、整備されるまでの間、草刈等の管理を可能な限りお願いします。これまで家が混んでいて草が生えるということがなかったので未経験ということもありますので、配慮をお願いします。 （斉藤復興推進課長） 状況を確認させていただいて、できるだけ対処していきます。 （男性１） 復興に関して尽力いただきありがとうございます。にぎわい創出広場の件で、利用者会議などでいろいろご意見をいただいているようですが、近隣住民や事業所に対して、今後利活用するにあたっては回りの方の理解や協力が必要だと思いますので、そういった方との意見交換の場というのも検討されていますか。 （斉藤復興推進課長） これから設計の方を詰めていく形になりますが、その途中や中間の段階で近隣の方と内容等について意見を伺ったりする場を設けたいと思っていますので、ご</p>

<p>議題（５）</p>	<p>協力をお願いいたします。</p> <p>（５）その他 ○まちなか駐車場の利用について 説明：齊藤復興推進課長 ○復興版マンホール蓋の設置について 説明：木村ガス水道局長 【質疑】 無し</p>
<p>その他</p> <p>閉会</p>	<p>【全体を通しての質疑】 （男性２） 防火水槽について 200 トンと聞いているのですが、図面には 2 つあります。両方で 200 トンということなのですか。 （丸山消防長） にぎわい創出広場のところの防火水槽が一つで 200 トンです。国道 8 号沿いの交差点付近の方が 100 トンです。合わせて 300 トンになります。</p> <p>（女性 1） 復興計画のなかで緑のありそうなところは広場になると思うが、今年の夏は非常に暑い。景観や風情のあるまちといったときに、今までなかった街路樹のような景観がすがすがしくてよいと思います。高齢者が歩いても木陰があると助かるのですが、糸魚川はほかのまちより高齢化が進んでいるので、高齢の方がゆったり暮らせるまちが若者や子どもたちも安心して住めるまちでないかと思いますので、道路拡幅だけでなく街路樹とベンチをたくさんおいてほしいと思います。 （五十嵐建設課長） 道路の広さの関係があって街路樹については、今まで植わっていないところにこれから植えていくというのは難しいのですが、被災地と言いますとみいちゃん通りにイチョウの木がありますし、市営住宅の東となりの銀行西線沿いに広場を 3 か所計画しています。こうした道路に隣接するような広場に街路樹を植えたり、ポケットパーク的にベンチを置いたりして、日陰や座る場所、トイレなどがあると安心してまちを歩くことができるという話も聞いていますので、そのようなことに配慮したいと思います。これ以外の広場についても防火の面もありますので、木を多く植えて、その下に座れるようなベンチということもあわせて考えていきます。</p>